

日本共産党
高槻市議員 **宮本雄一郎**



発行：日本共産党高槻市議員団 宮本雄一郎
連絡先：議員団控室電話 072-674-7230
事務所：高槻市氷室町2丁目37-10 TEL 072-692-1722
自宅：高槻市氷室町2丁目14-2 TEL 072-695-1900



緊急事態宣言下、 濱田市長に要望 コロナ対策強化を

新型コロナウイルスの感染拡大、病床のひっ迫で「緊急事態宣言」が発令されています。医療機関への支援の抜本的強化、医療機関や高齢者施設での定期的なPCR検査の拡大に責任を持たず、「GOTO」キャンペーンで感染を広げた政府の責任は重大です。

高槻市内の病院、高齢者施設などでもクラスターが発生し、患者や職員とその家族など濃厚接触者等をあわせると感染者は2月8日現在で累計212人に上ります（大阪府公表分）。市中感染も広がっています。

1月28日、日本共産党市議員団は、市長に高槻市として取り組むべきことを申し入れました。

住宅確保給付金の再受給要件が拡充

生活が困窮し、家賃の支払いが困難になった人への住宅確保給付金（収入額・預貯金額などの要件あり）は、再就職などをすると支給が終了し、それ以降、二度目の受給は解雇・倒産等以外の自己退職、休業などによる減収は認められませんでしたが、コロナ不況で休廃業・失業が激増していることから、3カ月の再支給が可能になりました。ただし、3月31日までに申請した場合のみです。

問い合わせ先・申請：高槻市福祉相談支援課
くらしごとセンター 電話 072-674-7767

2020年度1ヶ月あたりの保険料（応益割）

	均等割	平等割
	医療分・後期分・介護分	医療分・後期分・介護分
1人世帯	2,545	5,429
2人世帯	5,090	5,429
3人世帯	7,635	5,429

(円)

2021年度1ヶ月あたりの保険料試算（応益割）

	均等割	平等割
	医療分・後期分・介護分	医療分・後期分・介護分
1人世帯	3,064	5,039
2人世帯	6,128	5,039
3人世帯	9,192	5,039

(円)

市は2月10日、国保運営協議会に4月からの保険料について答申しました。平均保険料は据置きですが、加入人数で決まる均等割、世帯にかかる平等割の割合を変更するため、基本的にすべての世帯で値上げになります。加入人数が多いほど値上げ幅が大きくなります。市が大阪府が「国保運営方針」で示している均等割、

からの保険料について答申しました。平均保険料は据置きですが、加入人数で決まる均等割、世帯にかかる平等割の割合を変更するため、基本的にすべての世帯で値上げになります。加入人数が多いほど値上げ幅が大きくなります。市が大阪府が「国保運営方針」で示している均等割、

平等割の割合に6年間かけて合わせていくことで、来年度の保険料は、年間1人世帯15,488円、2人世帯7,776円、3人世帯では1万4,004円の値上げです。コロナの影響が大きい時だからこそ、大阪府が6年間の期限を延ばし、高槻市も加入者の状況を考え値上げを見送るべきです。

4月からの国民健康保険料が提案される 加入人数が多い世帯ほど値上げに

1、高槻市内でクラスターが増えていることもあり、医療機関、高齢者施設での従事者、利用者への定期検査を実施すること。費用については、国・大阪府に負担を求めると。

2、営業時間短縮協力金対象外の業者も収入が減少している。対象外の業者に対して、高槻市が支援金を給付すること。
3、生活困窮者への支援も必要である。雇用保険、雇用調整助成金の支給が終了した人、大学生や収入が減少した困窮者に支援金を給付すること。
4、国民健康保険料、介護保険料の値上げを中止すること。

高槻市文化財保存活用地域計画(案) 1月29日史跡整備・活用特別委員会資料より

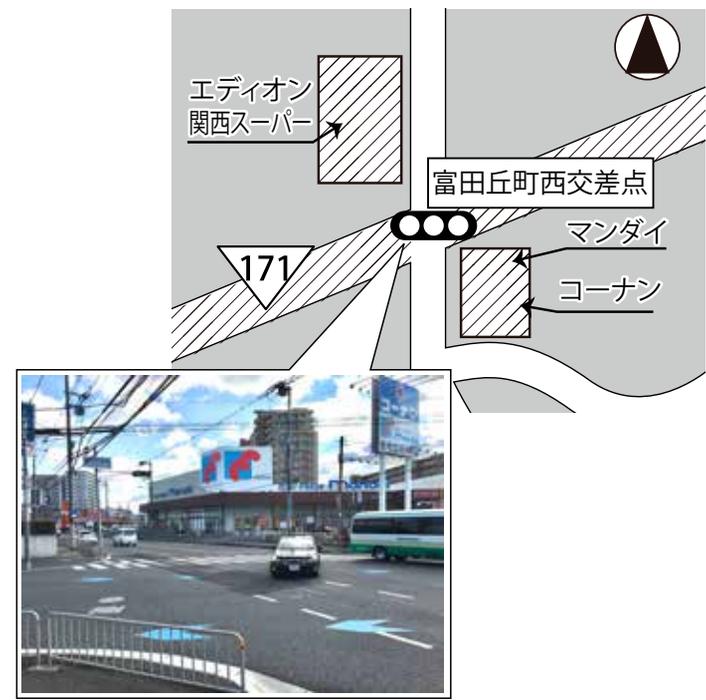
取り巻く現状 文化財を	大阪の文化財を取り巻く現況 ●持続可能な地域づくり ●次世代を担う人材の育成 ●災害対応力の強化 <大阪府文化財保存活用大綱>より	高槻市の歴史的環境 ●古代～近世には、ヤマト・飛鳥・奈良・京都・大坂等といわば首都圏を形成 ●日本の東西を結ぶ交通路・淀川と西国街道の要として発展 ●71件の指定等文化財(国指定22件、府指定12件、市指定37件)	高槻市の文化財をめぐる動き ●市民や民間による文化財活用による一定の成果 ●学校や地域からは文化財に関する学びへのニーズが強い ●安満遺跡公園に続いて城跡エリアでの保存活用の動きが進行
基本理念	高槻の文化資源を大切に守り、次世代の誇りとなる歴史文化を活かし伝える ●地域の魅力づくりの核となり、未来に引き継ぐべき文化財が数多く存在 ●文化財を次世代へ継承するためには、適切な保存と広い認知が必要 ●文化財の地域のアイデンティティやシンボルとしての認知を広げ、地域の活性化へつなげる必要 ●多様な担い手と連携し、文化財を保存し、大切に守り伝えることが重要		
将来像(イメージ図)	<p>市内の歴史拠点を3つの歴史軸で結び、点から線へネットワーク化し、魅力を発信</p>		
課題	1 文化財の調査・研究	2 文化財の保存	3 文化財の活用
方針	1 文化財を掘り起こす ①継続した文化財の調査・研究 ②市民と協働した調査	2 文化財を大切に守る ①文化財の指定・登録等 ②適切な保存管理体制の構築 ③文化財のデータベース化 ④次世代への継承 ⑤防災・防犯体制の充実	3 文化財の魅力を伝える ①学校教育・生涯学習での活用 ②文化財の価値や魅力の発信 ③住民が主体となった活用 ④他地域との連携 ●文化財保存活用区域 ～城下町エリアでの活用～ (街並の形成、文化財を活かした観光機能の強化)

「文化財保存活用地域計画」の骨子(案)示される

高槻市内には今城塚古墳、阿武山古墳、安満遺跡、高槻城跡など、幅広い年代の遺跡が残っています。遺跡公園として親しまれていくものもありますが、詳細な調査・保存が必須、貴重な遺跡を調査・保存し、市民の学習や観光などに活用するための計画です。(左参照)

要望が実る

私は、2017年の市議会にて「市内に存在する文化財を指定、未指定にかかわらず、幅広く捉え、総合的に保存、活用を推進するための基本構想を策定する必要がある」と訴えてきました。それが実現することになりました。



歩車分離式信号の導入を

富田丘町西交差点は、コーナン、エディオン、関西スーパーの開店以降、歩行者・自転車が増えています。安全のため、右折レーンの設置と同時に歩車分離式信号を導入することが必要です。

富田丘町西交差点の右折レーン工事について

2月5日の新名神・交通体系等対策特別委員会で進捗状況の報告がありました。神戸側については拡幅がおおむね終了しています。京都側は地権者との交渉が進められていましたが、2021年度に用地買収、2022年度に工事を行う予定であることが報告されました。

高槻市議会ホームページで市議会本会議の録画がご覧いただけます。

高槻市議会 録画

宮本雄一郎
～困りごと相談～
お気軽にご相談ください

☎ 072-695-1900 まで